

枝幸町簡易水道事業経営戦略

団 体 名 : 枝幸町

事 業 名 : 簡易水道事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給 水

| | | | |
|-----------------|------------------|--------|---------------------------|
| 供用開始年月日 | 昭和 35 年 10 月 1 日 | 計画給水人口 | 5,207 人 |
| 法適（全部・財務）・非適の区分 | 法 非 適 用 | 現在給水人口 | 2,557 人 |
| | | 有収水量密度 | 2,443 千 ³ m/ha |

② 施 設

| | | | |
|---------|---|-----------|---------|
| 水 源 | <input checked="" type="checkbox"/> 表流水, <input type="checkbox"/> ダム, <input type="checkbox"/> 伏流水, <input type="checkbox"/> 地下水, <input type="checkbox"/> 受水, <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 施 設 数 | 浄水場設置数 | 4 | 管 路 延 長 |
| | 配水池設置数 | 10 | |
| 施 設 能 力 | 5,267 千 ³ m/日 | 施 設 利 用 率 | 53.41 % |

③ 料 金

| | | | | | |
|---|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------|
| 料 金 体 系 の 概 要 ・ 考 え 方 | 用途別とし、基本料金、超過料金を賦課している。 | | | | |
| | (消費税抜き) | | | | |
| | 用 途 区 分 | 基本料金 (1か月) | | 超過料金 | |
| | | 基本水量 | 料金 | 超過水量 | 超過料金 |
| | 家 事 用 | 10 ³ m ³ まで | 2,000円 | 1 ³ m ³ につき | 180円 |
| | 事 業 用 (I) | 20 ³ m ³ まで | 4,000円 | 1 ³ m ³ につき | 180円 |
| | 事 業 用 (II) | 100 ³ m ³ まで | 19,000円 | 1 ³ m ³ につき | 140円 |
| | 官 公 署 ・ 学 校 用 | 20 ³ m ³ まで | 4,000円 | 1 ³ m ³ につき | 180円 |
| | 農 業 用 | 100 ³ m ³ まで | 7,000円 | 1 ³ m ³ につき | 60円 |
| | 浴 場 用 | 100 ³ m ³ まで | 7,000円 | 1 ³ m ³ につき | 130円 |
| 倉 庫 用 | 10 ³ m ³ まで | 2,000円 | 1 ³ m ³ につき | 180円 | |
| 船 舶 用 | 1 ³ m ³ まで | 500円 | 1 ³ m ³ につき | 500円 | |
| 臨 時 用 | 1 ³ m ³ まで | 500円 | 1 ³ m ³ につき | 500円 | |
| 料金改定年月日 <small>(消費税のみの改定は含まない)</small> | 平成 18 年 3 月 20 日 | | | | |

④ 組 織

| | | | | | | |
|----------|------|--------------------------------|-----|-----|-----|----|
| ○組織体制 | | | | | | |
| 水道課 (9名) | 水道課長 | ┌ 上下水道グループ (4名) 主幹2名、主査1名、主事1名 | | | | |
| | | └ 管理業務グループ (4名) 主幹1名、主査1名、主事2名 | | | | |
| ○年齢構成 | | | | | | |
| 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 合計 |
| 0名 | 2名 | 1名 | 2名 | 4名 | 0名 | 9名 |

(2) これまでの主な経営健全化の取組

令和2年度より浄水場施設に係る電気料、電話料、薬品費について、施設維持管理業務委託に含めて契約を行い施設維持管理費の節減に努めるほか、事務経費等についても節減に努め、一般会計からの基準外繰入を圧縮するよう事業運営を行っている。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

経営比較分析表参照（令和元年度）

2. 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

枝幸町人口ビジョンにより将来の給水人口を推計しており、令和12年度の給水人口は2,312人と年々減少していくと予測している。

| 年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 給水人口（人） | 2,505 | 2,485 | 2,465 | 2,444 | 2,424 | 2,402 | 2,379 | 2,357 | 2,334 | 2,312 |

(2) 水需要の予測

枝幸町人口ビジョンにより推計した給水人口予測により今後の水需要を予測している。今後、人口の減少に伴い家事用給水量が年々減少していくと予測している。

| 年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 年間配水量（千㎡） | 1,003 | 995 | 987 | 979 | 971 | 962 | 953 | 944 | 935 | 926 |
| 年間有収量（千㎡） | 563 | 562 | 560 | 559 | 557 | 555 | 554 | 552 | 550 | 549 |
| 有収率（%） | 56 | 56 | 57 | 57 | 57 | 58 | 58 | 58 | 59 | 59 |

(3) 料金収入の見通し

給水人口予測及び水需要予測により今後の水道料金収入を予測している。人口の減少に伴い家事用給水量が減少し、水道料金収入も年々減少していくと予測している。

| 年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 水道料金収入（千円） | 82,664 | 82,306 | 81,949 | 81,575 | 81,218 | 80,825 | 80,414 | 80,021 | 79,611 | 79,218 |

(4) 施設の見通し

○各施設の老朽化対策

法定耐用年数を経過した配水池や導水管、給配水管が存在し、今後も増加していく状況にある。枝幸南部地区については令和4年度より北海道を事業主体とする農業農村整備事業により、浄水場電気・機械設備、営農用水配水管路の更新整備の実施を行う予定である。

歌登地区、志美宇丹地区、本幌別地区については、枝幸南部地区の更新事業終了後に順次更新整備事業を展開していく予定である。

○浄水施設の余剰能力の見通し

給水人口の減少に伴い年間総配水量も減少傾向にあり、現在の配水能力において余剰能力が増加していくと見込まれることから、今後更新時には処理能力についてダウンサイジング等も視野に入れた更新事業を検討する。

(5) 組織の見通し

現在、枝幸町職員定員管理計画により定数適正化に努めている。今後も積極的に事務事業の見直しや民間委託等を検討する。

また、今後の課題として、簡易水道事業の企業会計移行時における業務量増加に対応する人員の確保や、技術職員における技術継承問題など検討していかなければならない。

3. 経営の基本方針

○事業の概要

当町の簡易水道事業は昭和34年度に歌登地区において創設の事業認可を受け、計画給水人口3,000人、1日最大給水量450㎡で給水を開始。その後昭和41年度に志美宇丹地区、昭和49年度に本幌別地区、平成7年度に枝幸南部地区と給水開始区域を拡大し、その後も3回にわたる拡張により、現在では計画給水人口5,057人、1日最大給水量5,233㎡まで計画規模を増大した。

令和4年度からは、北海道を事業主体とする農業農村整備事業により枝幸南部地区において、浄水場機械電気設備、営農用水配水管路の更新事業を行う予定である。

○基本方針

当簡易水道においては、創設から現在まで浄水場機器更新や配水管更新整備事業を進め、安定した給水に努めてきた。

しかし、人口減少及び住民の節水意識の向上により、今後更なる水道料金収入の減少が見込まれ厳しい経営が予想されることから、事務事業の効率化とコスト縮減、施設管理の効率化、高度化などにより、安心で安全、良質な供給体制の確保と水道事業経営の安定化に努める。

また、簡易水道事業が長期的に安定した経営を維持していくために、令和6年4月1日より地方公営企業法を適用した企業会計方式へ移行することとしている。

4. 投資・財政計画（収支計画）

(1) 投資・財政計画（収支計画）：別添のとおり

(2) 投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

| | | |
|---|---|---|
| 目 | 標 | 枝幸南部地区については、令和3年度以降、浄水場耐震診断業務委託、耐震化工事設計業務委託、耐震化工事、浄水場機械電気設備工事、営農用水配水管路更新工事に係る投資を予定。 枝幸南部地区以外では、令和3年度以降、配水管更新工事を予定。 今後、歌登地区、志美宇丹地区、本幌別地区においても機器更新が生ずることから、投資の集中による財政負担を軽減するため、更新内容及び更新期間の検討も必要になる。 |
|---|---|---|

| |
|--|
| <p>○枝幸南部地区</p> <p>令和3年度…浄水場耐震診断業務委託 30,000千円 令和6年度…浄水場耐震化工事設計業務委託、浄水場機械電気設備基本実施設計業務委託 46,750千円 令和7年度…浄水場耐震化工事、浄水場機械電気設備工事、配水管更新工事 85,250千円 令和8年度～令和11年度…浄水場機械電気設備工事、配水管更新工事 各63,250千円 令和12年度…浄水場機械電気設備工事、配水管更新工事 55,000千円</p> <p>○歌登地区、志美宇丹地区、本幌別地区</p> <p>令和3年度…配水管更新工事 1,386千円 令和4年度・令和5年度…配水管更新工事 各2,000千円 令和6年度～令和12年度…配水管更新工事 各10,000千円</p> |
|--|

② 収支計画のうち財源についての説明

| | | |
|---|---|---|
| 目 | 標 | 給水人口の減少により水道料金収入は減少するが、効果的な事業実施や経費削減により一般会計からの基準外繰入金額の縮減を目指す。 |
|---|---|---|

水道料金収入は給水人口予測及び水需要予測により、用途別給水量を推計した料金収入の予測をしている。また枝幸南部地区に係る農業農村整備事業については、企業債及び一般会計繰入金を見込んでいる。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

| |
|--|
| <p>○各経費の積算の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料…施設管理業務委託は長期継続契約（3年間）のため、契約時に労務単価上昇分を加算して積算している。 修繕費…施設の老朽化に伴い、年々修繕費が増加していくが早期の修繕や定期点検による計画的な修繕に努めながら抑制するため、前年度と同額で積算している。 人件費…令和3年度の平均昇給率1.013%を前年度に乗じて積算している。 <p>○経費削減の取組</p> <p>浄水場施設管理業務委託については、令和2年度より包括的民間委託により電気料、動力費、電話料、薬品費について管理業務委託に含め経費節減を図っている。（長期継続契約3年間の業務委託）</p> |
|--|

④ 投資・財政計画に対する経営健全化に向けた説明

| <p>○経営指標に関する事項</p> <p>各年度の経営指標に関する数値は下記の通りである。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> <th>令和11年度</th> <th>令和12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給 水 原 価</td> <td>180.74</td> <td>161.13</td> <td>155.24</td> <td>153.32</td> <td>151.63</td> <td>153.63</td> <td>152.35</td> <td>151.93</td> <td>155.32</td> <td>155.07</td> </tr> <tr> <td>供 給 単 価</td> <td>146.83</td> <td>146.45</td> <td>146.34</td> <td>145.93</td> <td>145.81</td> <td>145.63</td> <td>145.15</td> <td>144.97</td> <td>144.75</td> <td>144.30</td> </tr> <tr> <td>料金回収率 (%)</td> <td>81.2</td> <td>90.9</td> <td>94.3</td> <td>95.2</td> <td>96.2</td> <td>94.8</td> <td>95.3</td> <td>95.4</td> <td>93.2</td> <td>93.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>企業債完済に伴う経常費用の減少により給水原価は減少していくが、人口減少による使用料収入の減少により供給単価も減少していくと予想される。 令和6年に法的化に伴う経営戦略の改定を行い、上記の投資・財政計画による費用の縮減効果について検証を行う。また、使用料の見直しについて検討を行ったうえで、使用料の段階的な引き上げを行い、料金回収率の向上に努めていく。</p> | 年 度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 | 給 水 原 価 | 180.74 | 161.13 | 155.24 | 153.32 | 151.63 | 153.63 | 152.35 | 151.93 | 155.32 | 155.07 | 供 給 単 価 | 146.83 | 146.45 | 146.34 | 145.93 | 145.81 | 145.63 | 145.15 | 144.97 | 144.75 | 144.30 | 料金回収率 (%) | 81.2 | 90.9 | 94.3 | 95.2 | 96.2 | 94.8 | 95.3 | 95.4 | 93.2 | 93.1 |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 年 度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給 水 原 価 | 180.74 | 161.13 | 155.24 | 153.32 | 151.63 | 153.63 | 152.35 | 151.93 | 155.32 | 155.07 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 供 給 単 価 | 146.83 | 146.45 | 146.34 | 145.93 | 145.81 | 145.63 | 145.15 | 144.97 | 144.75 | 144.30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 料金回収率 (%) | 81.2 | 90.9 | 94.3 | 95.2 | 96.2 | 94.8 | 95.3 | 95.4 | 93.2 | 93.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 投資について検討状況等

| | |
|-----------------------------|--|
| 民間の資金・ノウハウ等の活用（PFI・DBOの導入等） | 現時点での活用の予定はないが、今後検討を行う。 |
| 施設・設備の廃止・統合（ダウンサイジング） | 施設の統合は、距離的な問題から難しい。しかし、現在の配水能力に余力があることから、施設更新時にはダウンサイジング等の検討を行う。 |
| 施設・設備の合理化（スペックダウン） | 今後の水需要の動向から、将来の管路更新時に口径の見直しや、配水池の規模の見直し等の検討を行う。 |
| 施設・設備の長寿命化等の投資の平準化 | 既存施設の定期的な点検や早期修繕により長寿命化に努め、施設の更新整備の集中を避け、投資の平準化に努めている。 |
| 広域化 | 近隣の自治体との広域化について検討を行う。 |
| その他の取組 | 特になし。 |

② 財源について検討状況等

| | |
|------------------------|--|
| 料 金 | 簡易水道事業が法適用される令和6年度に向けて、水道事業、下水道事業と調整のうえ、必要性や改正内容等について慎重に検討を行い、住民への負担が大きくなるよう段階的に使用料の引き上げを行う。 |
| 企業債 | 単年度で終わる配水管更新事業については企業債の借入は行わない予定であるが、枝幸南部地区に係る事業については複数年にわたるため企業債の発行を予定している。 |
| 繰入金 | 一般会計からの繰入金のうち基準外繰入金については効果的な事業実施や事務経費等の節減により減少させるよう検討を行う。 |
| 資産の有効活用等（*1）による収入増加の取組 | 遊休資産はなく、小水力発電や太陽光発電等の資産活用は未検討である。 |
| その他の取組 | 新規事業については、企業債発行を最小に抑え、補助金等の活用を検討を行う。 |

*1 遊休資産の売却や貸付、債券運用の導入、小水力発電や太陽光発電など

③ 投資以外の経費についての検討状況等

| | |
|--------|--|
| 委託料 | 施設管理業務については、包括的民間委託により電気料、動力費、電話料、薬品費を業務委託に含めて実施している。今後も更なる民間委託の有効性等について検討を行う。 |
| 修繕費 | 施設老朽化により年々修繕費が増加しているが、漏水調査による早期の漏水箇所修繕や定期点検による計画的な修繕に努めていく。 |
| 動力費 | 施設管理業務委託に含んでいるため、動力費はなし。 |
| 職員給与費 | 特になし。 |
| その他の取組 | 特になし。 |

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

| | |
|---------------------|--|
| 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項 | 令和6年度の簡易水道事業の地方公営企業法適用化により、新たに令和6年度に策定を行う。以降は毎年度進捗管理を行い、5年ごとに見直しを行う。 |
|---------------------|--|

経営比較分析表（令和元年度決算）

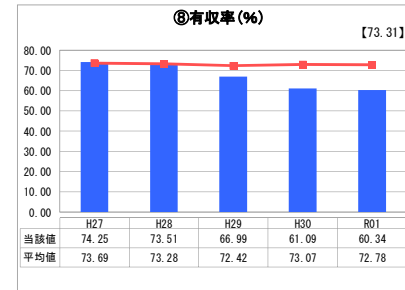
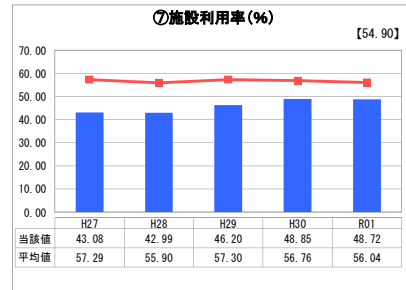
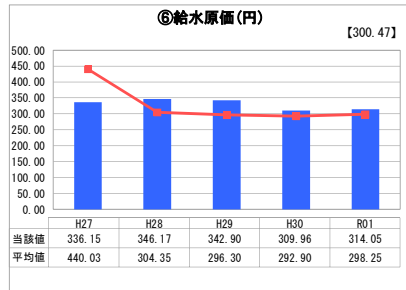
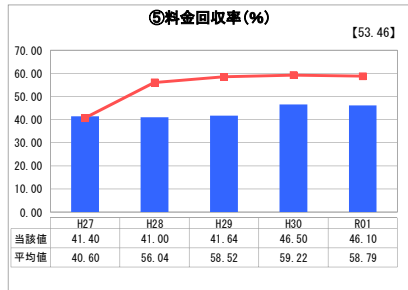
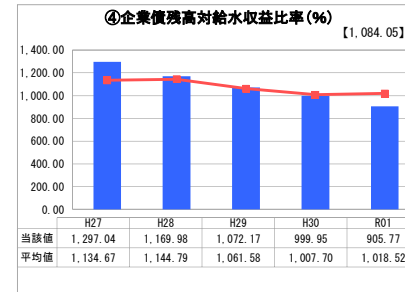
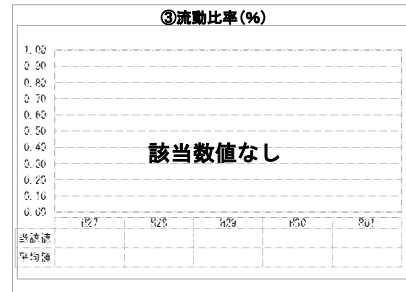
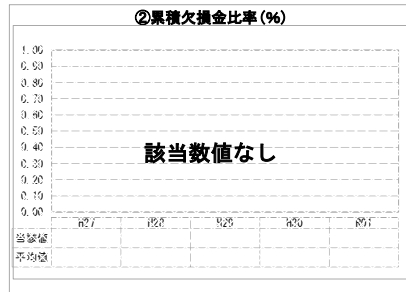
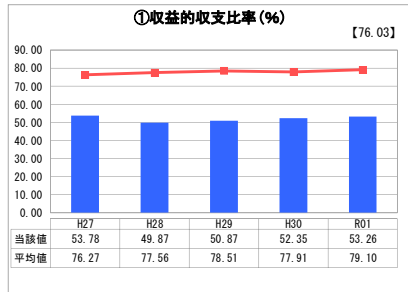
北海道 枝幸町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法非適用 | 水道事業 | 簡易水道事業 | D3 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 該当数値なし | 32.49 | 4,180 | |

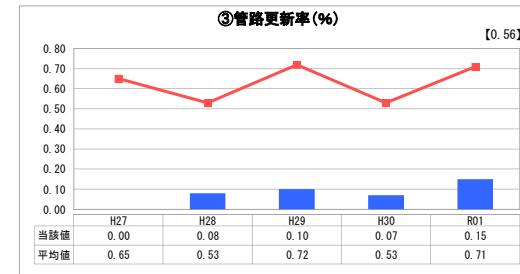
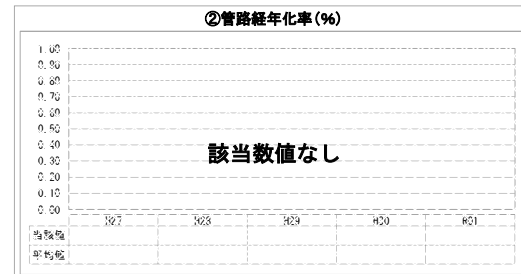
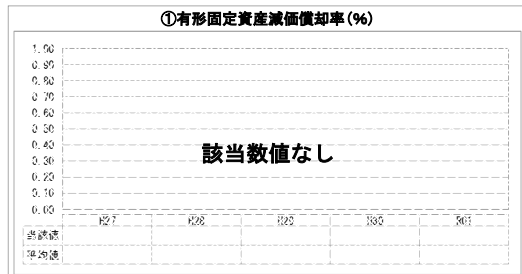
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 8,027 | 1,115.93 | 7.19 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 2,557 | 2.32 | 1,102.16 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値（当該値） |
| — | 類似団体平均値（平均値） |
| □ | 令和元年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率は、費用の減少により前年度より若干増加したものの、全国平均・類似団体平均を大きく下回っており、一般会計からの繰入金に依存している状況にあります。

企業債残高対給水収益比率は、施設更新投資を抑制しているため、地方債現在高は年々減少しており減少しています。

料金回収率は、全国平均・類似団体平均を下回っており、一般会計からの繰入金によって収入不足を補っており、給水に係る費用を料金収入で賄えていない状況にあります。要因としては給水人口の減少による料金収入の減少、複数の水道施設の老朽化に伴う費用の増加による給水原価の上昇等が挙げられます。今後、老朽施設の更新等により更なる給水原価の増加が見込まれます。

給水原価は、全国平均・類似団体平均を上回っており、今後も給水人口減少に伴う料金収入の減少が想定されるため、料金収入の確保と更なる経費節減に向けた取り組みが必要となります。

施設利用率は、全国平均・類似団体平均を下回っていますが、給水人口の減少等による水道使用量の減少によるもので、今後の水需要や人口動態によっては施設規模の見直しを含めた効率的な事業運営を行う必要があります。

有収率は、近年減少傾向にあり今後も給水人口減少や管路老朽化による漏水等の増加が見込まれることから、今後も老朽管更新や適正な施設維持管理により、漏水防止対策を進めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

管路更新率は、全国平均・類似団体平均を下回っています。老朽化した管路が多数あることから、重要給水管路を重点的に計画的な更新を行っていく必要があります。

全体総括

給水人口の減少により料金収入が減少しており、料金回収率が伸び悩んでいることから、包括的民間委託などの手法により、更なる経費削減に努めながら、適正な料金収入の確保等の対策を検討する必要があります。

また、施設の効率性が低水準にあることから、今後の水需要や人口動態に注視しながら、施設規模の見直しや老朽施設の更新等の検討を行い、計画的かつ効率的な経営に努めていく必要があります。

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

| 年 度 | 平成30年度 (決算) | 令和元年度 (決算) | 令和2年度 (決算見込) | 本年度 (令和3年 度) | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
|--|----------------|---------------|-----------------|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 区 分 | | | | | | | | | | | | | |
| 収 支 再 差 引 (E)+(I) (J) | △ 763 | 555 | 386 | △ 269 | 35 | △ 192 | △ 66 | 924 | △ 190 | 391 | 148 | △ 74 | 165 |
| 積 立 金 (K) | | | | | | | | | | | | | |
| 前年度からの繰越金 (L) | 1,514 | 751 | 1,306 | 1,725 | 1,492 | 1,551 | 1,389 | 1,356 | 2,300 | 2,135 | 2,557 | 2,741 | 2,708 |
| 前年度繰上充用金 (M) | | | | | | | | | | | | | |
| 形 式 収 支 (J)-(K)+(L)-(M) (N) | 751 | 1,306 | 1,692 | 1,456 | 1,527 | 1,359 | 1,323 | 2,280 | 2,110 | 2,526 | 2,705 | 2,667 | 2,873 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 (O) | | | | | | | | | | | | | |
| 実 質 収 支 黒 字 (P) | 751 | 1,306 | 1,692 | 1,456 | 1,527 | 1,359 | 1,323 | 2,280 | 2,110 | 2,526 | 2,705 | 2,667 | 2,873 |
| (N)-(O) 赤 字 (Q) | | | | | | | | | | | | | |
| 赤 字 比 率 ($\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$) | | | | | | | | | | | | | |
| 収益的収支比率 ($\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$) | 52 | 53 | 55 | 55 | 52 | 54 | 55 | 57 | 61 | 64 | 68 | 65 | 62 |
| 地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金不足額 (R) | | | | | | | | | | | | | |
| 営業収益－受託工事収益 (B)-(C) (S) | 82,765 | 82,259 | 82,496 | 82,708 | 82,415 | 82,058 | 81,684 | 81,327 | 80,934 | 80,523 | 80,130 | 79,720 | 79,327 |
| 地方財政法による 資金不足の比率 ((R)/(S) × 100) | | | | | | | | | | | | | |
| 健全化法施行令第16条により算定した 資金不足額 (T) | | | | | | | | | | | | | |
| 健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額 (U) | | | | | | | | | | | | | |
| 健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模 (V) | | | | | | | | | | | | | |
| 健全化法第22条により算定した 資金不足比率 ((T)/(V) × 100) | | | | | | | | | | | | | |
| 他会計借入金残高 (W) | | | | | | | | | | | | | |
| 地 方 債 残 高 (X) | 826,895 | 743,154 | 659,378 | 576,104 | 491,336 | 416,703 | 392,338 | 411,832 | 420,393 | 435,669 | 459,227 | 476,074 | 478,452 |

○他会計繰入金

(単位:千円)

| 年 度 | 平成30年度 (決算) | 令和元年度 (決算) | 令和2年度 (決算見込) | 本年度 (令和3年 度) | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
|-------------|----------------|---------------|-----------------|--------------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 区 分 | | | | | | | | | | | | | |
| 収 益 的 収 支 分 | 7,064 | 9,290 | 15,363 | 14,199 | 5,106 | 1,612 | 884 | 985 | 1,068 | 1,199 | 816 | 2,561 | 2,900 |
| うち基準内繰入金 | 3,740 | 4,841 | 7,022 | 6,270 | 5,106 | 1,612 | 884 | 985 | 1,068 | 1,199 | 816 | 1,552 | 1,291 |
| うち基準外繰入金 | 3,324 | 4,449 | 8,341 | 7,929 | | | | | | | | 1,009 | 1,609 |
| 資 本 的 収 支 分 | 100,264 | 110,675 | 120,663 | 127,843 | 96,937 | 86,802 | 91,285 | 85,924 | 74,858 | 68,143 | 59,861 | 66,572 | 72,791 |
| うち基準内繰入金 | 42,518 | 42,411 | 42,440 | 42,201 | 42,960 | 37,904 | 36,133 | 33,464 | 27,944 | 24,600 | 20,472 | 23,841 | 26,989 |
| うち基準外繰入金 | 57,746 | 68,264 | 78,223 | 85,642 | 53,977 | 48,898 | 55,152 | 52,460 | 46,914 | 43,543 | 39,389 | 42,731 | 45,802 |
| 合 計 | 107,328 | 119,965 | 136,026 | 142,042 | 102,043 | 88,414 | 92,169 | 86,909 | 75,926 | 69,342 | 60,677 | 69,133 | 75,691 |